

# 注意事項

## 施工上の注意

### ●施工時の気象条件

気温が5℃未満の時は施工しないで下さい。  
降雨、降雪、強風又は高温多湿の時は施工しないで下さい。  
気温・施工面温度に適した季節タイプを使用して下さい。  
硬化剤の添加量は、気温や季節タイプで異なりますので、製品毎の技術資料（TSDS）をご参照下さい。

### ●下地の条件

不陸、巣穴、凹凸等は、QコートパテE、カチオンフィラー等で下地処理を行って下さい。  
野地板、補強材は千鳥貼りとし、躯体が動かないように固定して下さい。 ※防水層の破断の原因  
下地は十分乾燥（含水率9%以下）させて下さい。 ※新設コンクリートの養生期間目安30日～45日です。  
表面のホコリ・油等は清掃し除去して下さい。 ※新設コンクリートの場合は、表面レイタンスを除去して下さい。  
断熱材は、断熱保護材（当社指定ポリエステルフィルム）を表面に貼り付け、端部・ビス部分をシーリングしてください。  
※防水材（有機溶剤）で断熱材を溶かし空洞化する恐れ  
断熱材（ポリスチレンフォーム）の使用温度は70℃以下です。70℃を越えると徐々に変形し始めますので、高温での使用はさけて下さい。  
※断熱材の熱変形の恐れ  
水勾配は1/100以上とし、水がたまることなく速やかに排水できるようにして下さい。

### ●プライマー（バイオニヤシーラー#100）

高温（30℃以上）高湿度（80%以上）で使用の際は3時間以内に次の工程へ進んで下さい。  
プライマー塗布後、2～24時間以内に次の工程（乾燥確認）へ進んで下さい。 ※密着不良の原因  
プライマー塗布後、24時間以上経過したり降雨になった場合は、サンドペーパー等で研摩後、再度塗布して下さい。

### ●下塗、FRPライニング、中塗

不飽和ポリエステル樹脂は、季節に応じた適切なものを使用して下さい。（S：夏用、M：春秋用、W：冬用）  
硬化剤は、気温に合わせて規定量を添加して下さい。 ※添加量は技術資料（TSDS）をご参照下さい。  
FRPライニングの性能は、不飽和ポリエステル樹脂のガラスマットへの含浸、脱泡及び完全な硬化で発揮されます。  
FRPライニングのガラスマットのラップは、50mm以上重ねて下さい。  
施工間隔が2日以上あいた場合は、サンドペーパー等で研摩して次の工程へ進んで下さい。 ※密着不良の原因

### ●上塗

上塗は、季節に応じた適切なものを使用して下さい。（SS：真夏用、S：夏用、M：春秋用、W：冬用）  
硬化剤は、気温に合わせて規定量を添加して下さい。 ※添加量は技術資料（TSDS）をご参照下さい。  
標準量を均一に塗布して下さい。 ※クラック・白化現象の原因  
夏場の路面温度（50℃以上）が高い場合は、その時間帯の施工は避けて下さい。 ※白化現象の原因

### ●脱気筒

必要に応じて水上へ脱気筒（20～50㎡に1ヶ所）の設置を検討下さい。  
※通気緩衝シートの場合は、必ず水上へ（50～70㎡に1ヶ所）設置して下さい。

### ●硬化剤表

硬化剤表（目安）	
気温	添加量
35℃以上	0.6%
25℃	1%
15℃	2%
5～10℃	2～3%

※硬化剤は、メチルエチルケトンパーオキシド55%溶液です。  
標準品：カヤメックM（日本化薬製）もしくはパーメックN（日油製）  
※硬化剤量の詳細は技術資料（TSDS）を参照してください。  
※硬化剤量は多くても少なくとも硬化不良の原因になりますので  
気温に応じて調整してください。  
※促進剤、遅延剤が必要な場合は、別途ご相談ください。  
促進剤、遅延剤と硬化剤を同時に混合禁止（危険）

### ●その他特殊な扱い、改修施工方法、納まり図等は別途ご相談下さい。

## 取り扱いの注意

### ●火気厳禁

周囲での火気使用は厳禁です。万が一、火災が生じた場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用して下さい。  
※水は使用しないで下さい。第2類引火性固体、第4類第1石油類、第4類第2石油類、第5類第2種等

### ●発火注意

塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいて下さい。  
多量の硬化剤入り樹脂は容器内で高温発熱し発火する恐れがあるので、容器に残った樹脂には必ず注水して下さい。

### ●保護具着用

作業に適したヘルメット、保護メガネ、長袖衣服、ゴム手袋、有機溶剤用防毒マスク等を着用して下さい。

### ●作業環境

塗料、不飽和ポリエステル樹脂、ガラスマット等の飛散や臭気等は事前に対処して下さい。

### ●換気

通気の悪い場所は、換気装置を使用し、監視監督して下さい。

### ●応急措置

塗料が皮膚に付着した場合は、直ちに水又は湯と石鹸でよく洗い落として下さい。炎症が生じた場合は医師の診察を受けて下さい。  
誤って目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で15分以上洗眼し、必ず眼科医の診察を受けて下さい。  
蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にして、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

### ●保管

直射日光を避け、冷暗所に保管して下さい。  
子供の手の届かないところに保管して下さい。

### ●廃棄方法

中身を使いきってから廃棄して下さい。  
廃液・汚泥等は関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

### ●詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート（SDS）をご参照下さい。